

# 令和5年度 事業報告書

吉賀町社会福祉協議会

# I. 法人運営事業

## 1. 主な取り組みと評価

- 幅広い世代の住民に、「吉賀町社会福祉協議会」の存在や、地域の中でのつながりづくりの大切さを知っていただくことを目的に、第1回「ふくしまつり」を開催しました。町内の保育所、よしかの里、こども食堂、ボランティアの方々の協力により、こどもから高齢者まで、約330名の方に来場していただきました。
  
- 住み慣れた自宅や施設で最期を迎えたいという希望をかなえるため、法人全体で積極的に看取り支援を行いました。在宅福祉部では、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、ケアマネセンターなどが他機関と連携して支援にあたりました。施設福祉部では、とびのこ苑やみろく苑のほか、グループホームあさくらでも初めて看取り支援に取り組みました。看取り支援を通じて、その人らしい生活を支援することの大切さを再認識する機会となりました。
  
- 買い物に困っている方に、買い物代行支援や町内店舗の買い物ツアーを実施しました。買い物ツアーは、小地域単位で実施することで、買い物だけでなく参加者同士の会話がはずみ、住民同士の交流の機会となりました。
  
- 新型コロナウイルス感染症が5類になり、施設では感染対策を講じながら、面会や外出、外泊等が実施できるようになりました。しかし、特別養護老人ホームみろく苑、グループホームあさくら、六日市デイサービスセンターでは、新型コロナウイルスのクラスターが発生し、改めて標準予防策の徹底や平時からの備えの大切さを実感すると同時に、事業継続計画（BCP）を見直す機会となりました。
  
- 特別養護老人ホームみろく苑では、令和4年度に立案した維持修繕計画に基づき、大型洗濯機及び大型乾燥機の更新、床走行リフトの購入を行いました。地域密着型では、排水管の不具合が発生し、8月から3月にかけて排水管の修繕工事を行いました。グループホームあさくらでは、リビング及び廊下のLED取替工事を行いました。
  
- 指定管理施設である特別養護老人ホームとびのこ苑と柿木村デイサービスセンターでは浴室改修が行われました。とびのこ苑では、天井走行リフトと臥床用の特殊浴槽が設置され、重度化に対応した安全安心な入浴を提供することができました。柿木村デイサービスセンターでは、改修工事のために8月の1か月間休業をすることになりました。一部の利用者には七日市デイサービスに通所していただくこととなりましたが、柿木地域以外の利用者との交流する機会になりました。

○将来的な人材不足に対応するため、福祉人材の確保に向けた人材確保等積立金を創設しました。令和5年度は法人全体で600万円の積立を行いました。

## 2、活動体制

### (1) 役員

令和5年6月23日まで

会長	石井 澄男	副会長	木村與志雄
理事	田村 惇	理事	平田 京子
理事	榎田 祥恵	理事	堀江 英紹
理事	藤井 和子	理事	滝元 理恵
理事	中林知代枝	理事	齋藤 義徳
監事	上田 重夫	監事	田村 俊則

令和5年6月23日から

会長	宗内 正照	副会長	齋藤 義徳
理事	田村 惇	理事	平田 京子
理事	榎田 祥恵	理事	河野 洋司
理事	中原 功士	理事	安永 桂
理事	中林知代枝	理事	滝元 理恵
監事	上田 重夫	監事	福本 博幸

### (2) 評議員

村上 貢	赤松 正	吉岡 初枝
齋藤 幹子	河野 繁	小田 圭二
村本 智	永見 朋子	手島 秀知
植木由美子	能美 直文	朋澤 公香
前田 晴江		

### (3) 理事会

第1回	5月11日
第2回	6月8日
第3回	6月23日
第4回	9月19日
第5回	12月8日
第6回	2月19日
第7回	3月11日

(4) 評議員会

- 第1回 6月23日
- 第2回 9月28日
- 第3回 12月18日
- 第4回 3月21日

(5) 部会

- 管理部会 第1回 10月16日 第2回 1月25日
- 地域福祉部会 第1回 8月30日 第2回 12月21日
- 第3回 3月1日

(6) 監事会

- 第1回 6月2日 第2回 9月14日 第3回 3月6日

(7) 職員数 216名（男性45名・女性171名）令和6年3月末

(8) 職員提案制度

職員提案数2件、推薦取り組み数13件

3、研修・会議

内容	人数等
新人職員研修	新人職員
全職員研修「社協の事業」「防災」「権利擁護」「看取り・ACP」	全職員
管理職研修「人事評価制度」「働き方改革に向けた取り組み」 「管理者業務の基礎知識」「法に関するQ&A」「経営管理」	主任・所属長
チーム力向上のための研修	リーダー層4回
問題解決の思考法（どうしていつまでたっても地域の問題は解決しないのか）	1回
コーチングの手法を用いた人材育成	1回
社会福祉協議会の運営に係る勉強会	3名
社会福祉法人会計実務講座（中級コース）	2名
福祉サービス苦情解決研修会	5名
改正障がい者差別解消法にかかる説明会	1名
感染対策研修	2名
益田圏域新型コロナウイルス感染症に関する研修会	1名
ACP研修会	1名
しまね県民福祉大会	2名
メンタルヘルス研修	2名

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	2名
災害ボランティア運営マネジメント研修	2名
学生×企業交流会	2名
高校3年生を対象とした企業説明会	2名
大学卒業者対象企業ガイダンス	2名
しまねの福祉・保育職場合同相談会	2名
益田圏域高等学校訪問	2名
吉賀高等学校企業ガイダンス	3名
社協トップミーティング	3名
社協トップセミナー	2名
島根県社会福祉協議会会長会	2回
島根県社会福祉協議会地域福祉推進委員会	2回
社協事務局長会議	2回
しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク総会	2名
島根県共同募金会事務局長・担当者会議	2名
苦情処理第三者委員会	2回
大田市災害ボランティア	9名

## II. 在宅福祉部

### 総合相談支援課

#### 〈総合相談支援所〉

##### 1、事業の主な取り組みと評価

多世代の住民同士の互助力の向上のため、地域住民が主体的に活動できるよう支援しました。

今年度から地域アセスメントによる地域診断を取り入れ、データ等の根拠に基づき、地域の特徴や強みを把握したうえで担当地域のコミュニティソーシャルワーカーを主体として地域づくりに取り組みました。

幅広い世代に社協が行う事業や福祉の情報を知っていただくため、情報発信に力を入れました。その取り組みの一つとして、福祉センターにおいて、第1回となる「ふくしまつり」を開催しました。町内の保育所、よしかの里、郵便局、子ども食堂など様々な団体の協力が得られ、330名の方に来場していただきました。

重層的支援体制整備事業では、重層的な支援体制の強化を図るため、定期的な会議を開催し、多機関の専門職との情報共有や具体的な支援内容の協議を行いました。

## 2、事業実績

### (1) 地域福祉事業

町内の福祉に関連した情報や制度について、社協だより（広報誌：くらしもつと）等を通じて発信し、福祉事業や社会福祉協議会への理解が深まるよう努めました。また、社協 LINE 公式サイトから社協だよりやホームページが閲覧できるようにし、気軽に社協や福祉に関する情報に触れられる機会をつくりました。

種 別	件数	金 額
一 般	1609 件	1,597,100 円
賛 助	12 件	26,000 円
団 体	2 件	8,000 円
特 別	6 件	18,000 円

社協だより（広報誌：くらしもつと）・福祉情報の発行：年 12 回

社協 LINE 公式サイトからの情報発信：年 17 回

### (2) 住宅改良助成事業

在宅の高齢者や身体障害者の日常生活が円滑に行え、介護者の負担が軽減するよう、バリアフリー等への改良費として事業を推進しました。今年度は 1 件助成を行いました。

### (3) ボランティア事業

ボランティア活動の推進として、ボランティア保険の加入手続きやボランティア組織への支援を行いました。また、小・中学生を対象にサマーボランティアスクールを開催し、七日市デイサービスやさくらんぼクラブと連携し、乳児や高齢者とのふれあいを通じて、他者への思いやりや自己成長を促しました。参加者から「ボランティアや福祉の仕事について興味が持てた」等の感想が得られました。

六日市福祉ゾーン周辺清掃活動	5 月 27 日
柿木福祉ゾーン周辺清掃活動	6 月 4 日
サマーボランティアスクール（小・中学生）	14 名
訪問員配置事業（月 1～2 回訪問）	
登録訪問員数	12 名
新規契約件数	7 件
契約利用者数	11 名

#### (4) 訪問給食事業（食の自立支援事業）

管理栄養士と連携し、地元のお店と食材を活用し、栄養バランスのとれた高齢の方でも食べやすい食事を提供しました。調理と配達は、地域のボランティアの方の協力を得て行いました。

月曜日・木曜日に実施

利用登録者	:	213名	
年間配食数	:	10,975食	
配食ボランティア	128名	調理ボランティア	35名
歳末たすけあい「おせち料理配食サービス」	:	164名	

#### (5) ふるさと福祉事業（軽度生活援助事業）

在宅の独居高齢者などの自立した生活を支えるため、自宅の周りの草引きや清掃といった軽易な日常生活上の作業やヘルパー等専門職による院内介助を行いました。

作業内容	:	屋内作業（居室の清掃） 屋外作業（自宅周辺の除草）
延べ利用者	:	75名
延べ協力者	:	94名
院内介助	:	延べ34名

#### (6) 資金貸付事業（民生融金貸付）

低所得者に対し、日常生活上緊急に必要な資金を一時的に貸し付け、福祉の増進を図りました。相談に応じ申請書類作成の支援を行うと同時に、償還についての助言などの支援を行いました。長期滞納者に対して民生児童委員や家計改善支援事業との連携を図りながら自宅に訪問し、償還や生活に関する相談支援業務を行いました。

新規貸付件数	:	6件
新規貸付決定額	:	300,000円
償還終了件数	:	6件

#### (7) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯・障がい者世帯・高齢者世帯に対し経済的な自立を促す目的で資金の貸付を行いました。

生活福祉資金の相談を受け付け、申請書類等の作成を支援しました。貸付後も生活状況の改善や安定のために随時、訪問し生活の様子を確認するなど、生活困窮自立支援事業との連携も行いました。滞納者に対し、県社協や民生児童

委員と連携を図りながら償還指導を行いました。調査委員会を年1回開催し、適切な運営に努めました。

また新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急小口資金等の特例貸し付けの償還が開始し、島根県社会福祉協議会からの受託事業として、生活再建に向けた伴走型支援をおこないました。

総貸付件数	:	25件（内、緊急小口資金13件）
新規貸付件数	:	1件
新規貸付決定額	:	273,000円
償還終了件数	:	1件
償還免除件数	:	0件
相談受付件数	:	3件

#### (8) 法人後見事業

認知症高齢者への家族支援が困難といった、相談が多く寄せられました。

益田・鹿足後見センターの定例会に毎月参加したり、情報交換を行いながら事業をすすめました。また法人後見運営協議会を開催し、後見業務に関する助言をいただきました。

5年度利用件数	:	7件
新規利用件数	:	3件
終了件数	:	1件

#### (9) 成年後見支援事業

吉賀町より吉賀町成年後見センターを受託し、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、成年後見制度を必要とされる方が利用できるよう、広報、相談、関係機関とのネットワーク構築を行いました。令和6年度より始まる「相続登記の義務化」に伴い、行政書士による研修を開催し、制度についての学びを深めました。

##### 1) 広報事業

- ・令和5年7月11日（火）相続、遺言講座  
講師 羽柴 絵里奈先生  
対象者 住民・民生委員（30名参加）
- ・令和5年8月5日（土）LGBT理解促進法について知る研修会  
講師 山田さくら弁護士  
対象者 住民、民生委員、学校関係者（27名参加）
- ・令和5年9月22日（金）成年後見人制度研修会  
講師 師井 克則

対象者 よしかの里職員（24名参加）

- ・令和5年9月30日（土）益田・鹿足成年後見センター研修会周知
- ・社協くらしもっと発行に合わせ、住民向け成年後見制度のチラシ（7月）
- ・吉賀町広報において、毎月成年後見制度相談について周知
- ・令和5年12月15日（金）成年後見制度と意思決定支援研修

対象者 福祉専門職（22名参加）

## 2) 相談事業

- ・成年後見支援会議（専門職向け会議） 相談件数 12件

相談区分：認知症高齢者 10件

知的障がい者 1件

精神障がい者 1件

## 3) 成年後見制度利用促進事業

- ・成年後見利用相談支援会議（専門職向け） 6回開催
- ・アドバイザー（石西権利擁護推進センター：弁護士・司法書士・社会福祉士）

## 4) 後見人支援事業及び不正防止に向けた事業

- ・令和6年3月5日（火）「親族後見」向け研修会（後見受任者3名）  
講師 山田 さくら弁護士

## (10) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力の不十分な方を対象に福祉サービスの利用にあたっての援助や相談支援、日常生活部分の金銭管理の支援を行いました。

利用者数 12名

新規利用者数 3名

## (11) 吉賀町福祉センター管理運営事業

定期的な草刈り、除雪、清掃等をおこない、適正な管理に努めました。放課後児童クラブの利用回数が増加しており、カフェコーナーや個人ワークができるブース、Wi-Fiによるインターネット整備など、多世代が利用しやすい施設として運営を行いました。

大会議室 291回

中会議室 240回

小会議室 545回

トレーニング室 203回

調理室 132回

## (12) 自立相談支援事業（生活困窮自立支援事業）

生活に困窮されている方の相談に応じ、困窮状態から早期に脱却できるよう、必要な情報提供や助言を行い、関係機関と連携しながら、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援により、自立の促進を図りました。

今年度は、特定非営利活動法人ワーカーズコープをお招きし、自立相談支援、家計改善支援、就労準備支援についての研修を開催し、担当職員のスキルアップ、事業運営についての助言をいただきました。

支援人数	40 名
新規相談人数	17 件
・相談内容（新規）：病気	3 件
・経済的困窮	3 件
・就職困難	2 件
・その他	9 件
支援実績 電話・連絡	21 回
訪問・同行支援	145 回
面接	65 回
他機関との調整	36 回
その他	16 回
アウトリーチ支援	
訪問回数	50 件
電話相談	4 件
プラン作成	10 件

## (13) 家計改善支援事業（生活困窮者自立支援事業）

生活が困窮し、家計の見直しが必要な方に支援ツールを活用し、家計管理に関する助言を行いました。前年度同様、プロセスに沿った支援を意識し、対象者の実情に合わせたキャッシュフロー表を活用した支援に努め、その家族に寄り添う伴走的支援を行いました。

新規相談件数	2 件
家計支援	70 回
訪問・同行支援	23 回
面接	9 回
その他	38 回

#### (14)就労準備支援事業（生活困窮者自立支援事業）

就労経験がない方、仕事が長続きしない方等、就労へのつまずきがある方に対して、面談、ハローワークや企業への同行訪問を行い、仕事をしていく能力の向上に向けた支援を行いました。就労準備支援の一つとして、社協だより（くらしもっと）の封入作業をしてもらいながら、就労に対する意欲を引き出せるよう支援しました。今年度は、1名の対象者がアスノワ事業所へ就労訓練として繋げることができました。

支援実人数	3名
支援機関との合同面接・打合せ	5回

#### (15)重層的支援体制整備事業

##### 1)多機関協働事業

吉賀町において、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズや属性を問わず包括的に相談を受け止める支援体制を整備するため、行政、よしかの里、包括支援センター、総合相談支援所とのネットワークを構築し、本事業をすすめました。町内の関係機関が関わっている困難事例や複合的な支援ケースを持ち寄り、会議を4回開催し、情報共有や役割分担を行い、多機関での支援体制の構築に向けての取組みを実施しました。

多機関協働	支援件数	11件
多機関協働	プラン作成件数	4件

##### 2)参加支援事業

地域の独居高齢者や移動手段がない方、日常的に社会参加ができていない方で買い物に困っている方に向け、社会とのつながりを作るための支援として、小地域単位での買い物ツアーを実施しました。一緒に買い物へ出かけることにより、参加者同士の繋がりができ、「またでかけたい」と喜ばれました。また、引きこもりや就労できていない方に介助や見守りを手伝ってもらい、人の役に立つ事の喜びや、自己肯定感の向上を得ることができるよう努めました。

参加支援事業件数	4件
参加支援プラン作成件数	4件
買い物ツアー実施回数	15回
利用者数	63名
引きこもりの方の参加者数	2名

##### 3)アウトリーチ支援事業

地域の潜在的な相談者を見つけるため、アウトリーチ支援員を中心に地域に出向き訪問を行いました。民生児童委員や福祉委員などの地域の協力者からの情報をもとに支援が届いていない方への訪問を通し信頼関係の構築に努めました。

また地域住民の抱える人権問題・福祉問題等さまざまな心配ごとの相談に対しての解決策をみつけるため、福祉センター・公民館において相談事業をおこないました。

アウトリーチ等通じた継続的支援事業	18 件
アウトリーチ等支援プラン作成件数	7 件
ふくし何でも相談会	12 回実施、相談件数 1 件
弁護士相談会	12 回実施、相談件数 15 件
行政書士相談会	3 回実施、相談件数 0 件
公証役場相談会	1 回実施、相談件数 1 件

#### 4)小地域ネットワーク事業

住民が自発的に集まり運営する場として「ちいさな集い」事業を実施しました。地域の方が集うことで、地域のつながりを再構築し、住民同士の助け合い、支え合いを推進することを目的に助成を行いました。各グループの活動場所に出向き、活動の内容や様子を取材し、社協だよりで広報しました。グループの数は 72 団体に増え、様々な活動のグループが立ち上がり、見守りや支え合いの場が広がりました。

住民が主体となって助け合える組織づくりを推進するため「地域お助け事業」を実施しました。互助力の向上に向けた地域のつながりの強化や地域の多様な課題に幅広く対応し、活力ある活動に対して助成を行うとともに助言などの支援をしました。

小さな集いへの助成	:	72 団体
参加延べ人数	:	412 名
地域お助け事業への助成団体	:	5 グループ
「黄色い旗運動」	:	町内の 2 地区で行われました

#### 5)地域住民支援事業

各サロンリーダーが中心となり、地域それぞれの特色を生かしたふれあいサロン活動がおこなわれ、互助によるコミュニティ強化につながりました。サロンリーダー研修では、各サロンでの良い取り組みや問題を共有でき、解決に向けての話し合いができました。

サロン実施地区	:	33 地区
開催延べ回数	:	277 回
参加延べ人数	:	3758 名
車両貸し出し	:	6 地区

#### 6) 生活支援体制整備事業

誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせるよう、地域のつながり、助け合える関

係づくりを推進するために、吉賀町内5か所の公民館単位で地域支え合い会議を開催しました。それぞれの意見交換の中では、互助力の向上を意識した地域の中での繋がりの強化や助けあいの大切さを確認し合い、地域の取組みの紹介や地域づくりに関係する機関との連携について話し合いました。吉賀町長はじめ、各課の役場職員、中学生の参加もありました。

フードバンクは、生活困窮者自立支援事業と連動し、食事に困っておられる方へ支援を行いました。前年度に引き続き、町内の郵便局3か所、サンマート、福祉センターにフードバンクポストの設置、Amazon みんなで応援プログラムの利用など町内の住民のみならず全国の方からフードバンク提供の協力ができる仕組みを活用し、多くの支援を得ることができました。

フードバンク利用（計137回/325アイテム）

個人 : 19世帯（102回）  
 社協内他事業（配食など） : 4事業（18回）  
 他団体（子ども食堂など） : 2団体（17回）

町内のフードバンクポストへの寄付 : 353品目

Amazon みんなで応援プログラム : 53品目（総額およそ66,910円）

他団体からの寄付 : 38品目

個人からの寄付 : 71品目

お米の寄付 : 1,181kg

### 3、研修・会議

内容	人数等
福祉委員研修会（4/20）	47名
ふれあいサロンリーダー研修・親睦会	85名
生活支援コーディネーター養成研修	3名
生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	2名
コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修	3名
コミュニティソーシャルワーク実践力強化研修	5名
災害ネットワーク協定連絡会議	2名
災害ボランティアセンター運営者養成講座	2名
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 江津	2名
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 飯南	2名
災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 出雲	3名
無料職業紹介責任者講習受講	2名
子ども食堂情報交換会	3名
子ども食堂情報交換会（住民グループ参加）	5名

益田・鹿足成年後見センター	12回
課内研修 問題解決の思考法	30名
居場所づくり推進セミナー	3名
子ども食堂との協働実践研修会	2名
市町村共同募金委員会担当者会議	1名
ひきこもり支援総合会議	5名
地域共生社会推進セミナー	5名
子どもの未来応援セミナー	3名
支えあいボランティア研修 飯南町	2名
あいサポートメッセンジャー研修	3名
日常生活自立支援事業生活支援員研修	2名
傾聴ボランティア研修	10名
意思決定支援研修会	5名
刑余者支援事例検討会	2名
島根県身体障がい者団体連合会タウンミーティング	2名
生活困窮者自立支援研修	4名
生活困窮者自立支援事業養成研修養成研修	2名
地域支えあい会議 朝倉地区	1回
地域支えあい会議 柿木地区	2回
地域支えあい会議 六日市地区	2回
地域支えあい会議 蔵木地区	2回
地域支えあい会議 七日市地区	2回
地域支え合い推進会議	1回
生活支援体制整備事業研修	4名
重層的支援体制整備事業 zoom研修	3名
県社協重層的支援体制整備事業連絡会議	3名
生活福祉資金調査委員会	10名
法人後見運営委員会	10名
成年後見制度連絡会議	2名
ボランティアありがとう会3	79名
自立相談支援事業従事者養成研修	1名
家計改善支援事業従事者養成研修	1名

## 《シルバー人材センター》

### 1、事業の主な取り組みと評価

シルバー人材センターを設立してから9年目を迎え、除草作業や剪定作業などを中心に80%を超えるリピーターの作業も定着し、新たな利用者からの作業依頼もありました。会員は、今まで培った豊富な知識・経験・技能を生かし、町内の困り事の解決を図るよう積極的に作業を行いました。

しかし、会員の高齢化の影響や平均気温が30度を超える猛暑の日々が続いたことが原因で、作業が遅滞することが多発しました。特に剪定作業に携わる会員が不足し、作業をお断りすることがありました。

また、「吉賀町出会い創出応援事業」を企画・運営し、様々な方の出会いを創出すると共に会員の拡大を図る機会となりました。

このような状況の中、会員数は目標95名に対し前年より8名増加し103名となりました。受託請負金額は、目標1,700万円に対し、1,797万円で105.7%の達成率となりました。契約件数は目標750件に対し、823件となり109.7%の達成率となりました。

仕事別受注件数では、田畑や家の周りの作業を個人が行うことが出来なくなっている状況の中、草刈りや植木の剪定・伐採作業の割合が6割を超えました。

### 2、事業実績

#### (1) 会員数（令和6年3月末日）

	人数
会員数	103人
新規入会者	20人
退会者	12人

#### (2) 請負受注実績 受注件数 823件

配分金合計	15,742,528円
材料費合計	674,930円
事務費合計	1,557,609円
配分金総計	17,975,067円

#### (3) 仕事別受注件数 受注件数 842件

除草作業・植木剪定	556 件
片付け・運搬・清掃等	160 件
障子・ふすま張替え	43 件
その他	83 件

(4) 作業中の人身事故 2 件

(5) 作業中の物損事故 5 件

### 3、研修、会議

内容	人数等
シルバー人材センター運営推進会議（3 回）	20 名
派遣元責任者講習（オンライン）	1 名
事務局長会議（オンライン）	2 回
シルバー会員交流会(夏)	18 名
シルバー会員健康講座	17 名
シルバー会員交流会(春)	28 名
社協全体研修（4 回）	8 名

## 《地域包括支援センター》

### 1、事業の主な取り組みと評価

地域包括ケアシステムの進化と地域共生社会の実現に向けた中核機関として、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが送れるよう地域の身近な相談機関としての支援体制を整えました。また、保険者や様々な関係機関とのネットワークを築き、医療・介護・福祉・介護予防の視点など多角的な視点を持ち、地域の方々とも連携しながら吉賀町の実情にあわせ包括的に支援が提供されるよう事業を行いました。

### 2、事業実績

#### (1) 総合相談業務

気軽に相談できる窓口として、くらしもっと内外の部署と連携して総合相談業務を行いました。複合的な問題が生じている場合には、関係機関や専門職と現状把握や情報の共有、意見交換、会議を実施し適切な支援に早くつながるよう対応しました。

内容	件数
新規相談件数	154 件
施設サービスに関する相談件数	4 件
相談対応件数	5,389 件
業務時間外のオンコール対応件数	336 件

## (2) 権利擁護業務

個人の権利や尊厳が守られ住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう権利侵害の予防や権利侵害からの回復、権利行使の支援を行いました。虐待に関する相談や通報があった場合には、行政と協働し迅速に対応しました。随時コアメンバー会議を開催し、協議を重ね、虐待対応専門職チーム（弁護士・社会福祉士）への相談、定期的な連絡会を開催し、助言や指導を受けながら進めました。より適切な支援が迅速に行えるよう虐待発生時の対応に関する研修会に参加し、学びを深めました。

内容	件数・回数
成年後見相談数	1 件
益田鹿足後見センター定例会	6 回
コアメンバー会議	23 回（実人数 8 人）
虐待対応専門職チーム定例相談	6 回
虐待対応専門職チーム員会議緊急招集	0 回

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

個別ケース会議とケアマネジメント支援会議を開催し、他職種・他機関協働のもとケース検討と地域課題の抽出をし、具体的な解決策に向けて検討を行いました。

また、切れ目のない医療と介護の提供体制の構築および医療・介護の連携推進を目指し、六日市病院・行政・保健所・各介護事業所で定期的に在宅医療・介護連携会議を開催し、協議を重ねました。地域住民を対象とした ACP に関する映画上映会と研修会を開催し、参加者の方に『思いをつなげるシート』の説明をおこない、実際に記入する機会をもちました。

内容	人数等
個別ケース会議	9 回（実人数 6 人）
ケアマネジメント支援会議	11 回（事例検討 17 件）
在宅医療介護連携会議開催	5 回

#### (4) 介護予防ケアマネジメント業務

要支援・要介護状態となっても、状態の改善、維持、重症化予防を図り、本人の主体性を引き出しながら、フォーマルサービス、インフォーマルサービスを活用しながら自立した生活に繋がるよう、事業対象者及び要支援 1、2 の介護予防ケアマネジメントを行いました。

介護予防ケアプラン件数は、年間合計 1575 件、月平均 131 件でした。区分変更の場合など、その都度ケアマネセンターと連携し、継続的な支援が受けられるよう対応しました。

##### a 介護予防支援（介護保険ケアプラン）件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	42	42	40	39	40	42	42	42	39	39	39	39
要支援 2	47	49	51	52	48	47	49	47	47	49	47	45
計	89	91	91	91	88	89	91	89	86	88	86	84

##### b 介護予防ケアマネジメント（総合事業ケアプラン）件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	9	11	10	10	8	10	9	9	10	8	7	7
要支援 1	23	25	27	25	23	24	25	25	26	26	25	26
要支援 2	10	9	8	8	7	9	9	9	10	7	8	10
計	42	45	45	43	38	43	43	43	46	41	40	43

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計 (a+b)	131	136	136	134	126	132	134	132	132	129	126	127

#### (5) 一般介護予防事業

令和 5 年度は既存の介護予防教室をはじめ、この数年取り組んできた『シニアドライバー講座』『脳活倶楽部』『みらいトレーニング』も定着し始めてきました。また、シルバー人材センター会員向けの健康講座や、えびすジムを活用したみらいトレーニングは、参加の少ない年代層である前期高齢者や男性にも興味を持ってもらえるような内容で開催しました。よしか病院や法人内のリハビリ職、その他専門職に介護予防教室やサロンでの講座などの講師を依頼し協働して取り組みをしました。

内容	人数等
若返り測定隊(教室版)	3 回実施のべ 59 人参加

若返り測定隊(出張版)	22 回実施のべ 261 人参加
骨折転倒予防教室	8 回実施のべ 176 人参加
からだ爽快教室	11 回実施のべ 310 人参加
脳活倶楽部	7 回実施のべ 93 人参加
みらいトレーニング	4 回実施のべ 24 人参加
シニアドライバー講座	2 回実施 34 人参加
お口の健康講座	1 回実施 10 人参加
言語聴覚士サロン訪問	5 回実施 59 人参加
作業療法士サロン訪問	10 回実施 122 人参加
理学療法士サロン訪問	7 回実施 80 人参加
管理栄養士サロン訪問	5 回実施 45 人参加
保健師サロン訪問	7 回実施 95 人参加
レクリエーションサロン訪問	4 回実施 39 人参加
テイクテンサロン訪問	2 回実施 18 人参加
シルバー人材センター健康講座	1 回実施 16 人参加
いきいき教室	1 回実施 12 人参加
終活アドバイザーサロン訪問	1 回実施 13 人参加

#### (6) 認知症対策事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、認知症の人及びその家族に対して、介護者の会の開催、認知症初期集中支援チーム員と認知症サポート医との定期的な会議、認知症について考えるための映画上映会を行ないました。また、アルツハイマーデーの活動としてキャラバンメイトと認知症サポーターが協働して、スーパーの店頭などで普及啓発活動をおこないました。オレンジセーフティネット事業の理解促進と町内の協力者の増加を目的として協力者募集のチラシを作成し、配布を行いました。

内容	人数等
キャラバン・メイト養成講座	県にて開催 町から 7 人参加
認知症サポーター養成講座	7 回開催 のべ 105 人参加
認知症の方と御家族の会	12 回開催 のべ 79 人参加
キャラバンメイト連絡会	2 回開催 (R4 年度延期開催分含む)
認知症初期集中支援チーム員会議	10 回開催
オレンジセーフティネット	登録家族 1 世帯 登録協力者 10 人
認知症について考える映画上映会	2 作品 各 3 回開催 のべ 322 人参加

(7) 障がい者相談支援

障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう相談支援事業を実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成	1	2	1	2	4	0	0	2	2	1	3	0	18
モニタリング	8	4	4	9	7	4	6	4	6	9	4	5	70

3、研修・会議

内容	人数等
全体研修（社協の事業を知る）	9名
生活支援コーディネーター養成講座（基礎編）	1名
コーチング研修	1名
認定調査員研修（新任者研修）	2名
コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修	1名
全体研修（事業報告・決算報告・防災）	5名
サービス管理責任者更新研修・児童発達支援管理責任者更新研修	1名
管理職研修 法に関する Q&A	1名
島根県社会福祉団体連絡協議会連絡調整会議	1名
キャラバンメイト 養成研修	2名
益田圏域新型コロナウイルス感染症に関する研修会	2名
益田圏域 認知症支援懇談会	2名
高齢者住まい看取り研修・VR 認知症体験会	4名
コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修（後期）	1名
脳卒中既往者の会 交流会	1名
島根県高齢者虐待対応現任者標準研修	2名
島根県国保地域医療学会	1名
相談支援従事者現任研修 11/21	1名
高齢者虐待対応現任者標準研修 11/17	1名
福祉サービス苦情解決研修会	1名
介護支援専門員研修（専門研修課程Ⅱ）	1名
相談支援従事者現任研修 11/1	1名
全体研修（看取り・ACP）11/15	8名
感染対策委員会研修	6名

避難行動要支援者・個別避難計画実務研修	2名
介護支援専門員研修 専門研修課程Ⅱ	1名
高齢者虐待防止委員会	6名
相談支援従事者現任研修 12/14	1名
共生と予防を考える地域づくりミーティング 12/14	4名
意思決定支援研修会	5名
島根県ケアマネジャー研究大会	2名
全職員研修（権利擁護研修）	6名
令和5年度 災害ケースマネジメント推進研修	2名
緩和ケア地域連携カンファレンス	6名
益田圏域介護支援専門員協会主催研修会	1名
共生と予防を考える地域づくりミーティング 脳活×デジ活 1/30	4名
島根県地域包括ケアシステム関係機関連絡会議	7名
防災研修会	2名
益田圏域認知症ネットワーク会議	2名
広島県高齢者虐待対応研修 応用編	3名
こんなときどうする？精神疾患のある方の支援のポイント	4名
益田市公開研修会	3名
地域の権利擁護支援体制づくり推進セミナー	2名
刑余者支援事例検討会	2名
事業所による高齢者・障害者に対する虐待検証のための第三者委員会ガイドラインに関する研修	1名
精神看護基本療養費算定研修	2名
令和5年度第2回感染対策委員会研修	4名
成年後見センター定例会	2名
益田圏域認知症ネットワーク会議	2名
地域支え会い会議	5名
地域支え会い推進会議	1名
地域密着型サービス 運営推進会議 (みろく苑、とびのこ苑、七日市デイサービス、グループホーム)	4名
特別養護老人ホーム入居判定委員会	1名
養護老人ホーム入所者選考委員会	1名
吉賀町健康づくり健康推進協議会代表者会議	1名
民生委員・児童委員との連絡会議	10回

島根県地域包括支援センター連絡会・センター長会	1名
島根県訪問看護支援検討会	1名
吉賀町健康づくり推進協議会	1名
高齢者いきいきまちづくり計画策定委員会	1名

## 《ケアマネセンター》

### 1、事業の主な取り組みと評価

令和5年度は新規が74件あり、前年度より40件増の1,391件の支援を行い、内4名の看取り支援を行いました。しかし施設入所や入院、死亡、要支援へ移行するケースも多く、今年度給付管理件数の月119件の目標を下回り月116件となりました。

新たな利用者の個別避難計画の作成に向け、毎月の要支援者リストの更新や、介護支援専門員協会主催の災害についての研修に参加し、災害時のケースマネジメントについて学び、アセスメント様式の修正をおこなうことができました。

主任介護支援専門員を二人配置している強みを生かし、事業所内で定期的に情報共有を行い、相談し合える場を設け、複合的な課題を持つ利用者や家族等に対するケアマネジメントの検討や、問題解決の方法を探していけるよう体制を整えました。

主治医、病院、事業所の担当者等と情報共有をおこない、支援内容等について相談しながらケアマネジメントをおこないました。退院前にはカンファレンスに参加し、円滑に在宅復帰ができるように支援しました。よしか病院への移行にあたって、保険者や病院など関係機関と定期的な入退院調整会議を行いました。また移行にともなうサービス事業所の変更については、保険者に確認しながら、適正な事務手続きに努めました。

### 2、事業実績

#### (1) 居宅介護支援業務

- 1) 居宅サービス計画の作成      1,391件      (月平均 116件)
- 2) 要介護認定調査                      73件
- 3) 住宅改修支援事業                      0件
- 4) サービス担当者会議開催

利用者毎自宅、病院等で開催（新規、更新時、変更時、入退院（所）時）

#### 5) モニタリング

毎月の訪問、事業所との随時連絡調整

#### 6) 給付管理

7) 地域包括支援センターとの連携

地域ケア会議 開催時

ケアマネジメント支援会議、事例提出

困難事例の相談、担当者会議の参加、同行訪問を依頼し支援の実施

要介護から要支援、要支援から要介護へ移行する高齢者に対して情報提供や同行訪問を行い継続した支援の提供。

8) 関係機関との連携

医療介護連携会議 年 5 回

多機関協働事業支援会議 年 3 回

認知症初期集中支援チーム員会議 年 7 回

退院・退所加算 41 件

入院時情報連携加算 77 件

9) その他

ケアマネ伝達会議毎週 1 回開催

介護支援専門員実務研修見学実習生受入 1 名

24 時間連絡体制を確保し、適宜相談業務実施

居宅介護支援提出状況

(単位：件数)

月別	介護給付					合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4 月	57	26	14	5	3	105
5 月	65	26	13	4	5	113
6 月	66	26	10	6	4	112
7 月	70	25	11	7	5	118
8 月	66	26	13	9	4	118
9 月	66	26	13	10	4	119
10 月	63	24	11	8	5	111
11 月	64	26	12	8	4	114
12 月	63	26	14	10	4	117
1 月	69	27	12	12	5	125
2 月	63	26	13	10	4	116
3 月	66	27	15	10	5	123
合計	778	311	151	99	52	1391

(要介護 1・2→12,374 円 要介護 3・4・5→16,077 円)

(1) その他の業務

- 1) 在宅福祉等に関する各種総合相談
- 2) 福祉用具の紹介
- 3) 保健福祉サービスの利用申請手続きの受付、代行、その他
- 4) シルバー・ボランティアセンターへの相談、連絡

### 3、研修・会議

内容	人数等
認定調査員研修	4名
権利擁護研修	4名
島根県ケアマネジャー研究大会	4名
島根県介護支援専門員協会ケママネジメント研修会	3名
日本介護支援専門員協会令和5年度中国ブロック研究大会	2名
介護支援専門員専門研修Ⅱ	1名
災害ケースマネジメント推進研修	4名
介護支援専門員スキルアップ研修「災害に備える。そしてつながる」	4名
高齢者虐待防止研修	2名
適切なケアマネジメントについて学ぼう	4名
2024年介護保険制度改正に向けての事前準備に必要なこと	4名
救急救命研修	4名
ACP研修	4名
益田地域介護支援専門員協会研修「看取りについて」	2名
島根県訪問看護ステーション・介護支援専門員協会・看護協会合同研修	2名
問題解決の思考法	3名
コーチング研修	2名
メンタルヘルス研修	4名
令和5年度益田圏域認知症研修	3名
中堅・リーダー研修	1名
益田圏域新型コロナウイルス感染症に関する研修会	4名
益田地区栄養士会研修	1名
感染症の特徴と予防策について	4名
感染症対策研修（訪問先での適切な処理方法）	4名
医療介護連携会議	1名
認知症初期集中支援チーム員会議	1名
訪問リハビリカンファレンス	4名
ケアマネジメント支援会議	4名

## 《訪問看護ステーション》

### 1、事業の主な取り組みと評価

本人が望む場所で安心して療養できるよう質の高いサービスの提供を常に念頭におき、利用者と家族に寄り添い 24 時間体制によるサポートをおこないました。新型コロナウイルス感染症による入院中の面会制限の影響もあり在宅での看取り支援は前年度より増加し7名でした。グループホームあさくらでは初めてとなる看取り支援に関わり、職員への助言や主治医との連絡調整などをおこないました。

新型コロナウイルス感染症が流行する中でも、BCP やマニュアルに基づいて行動することにより、通常業務を維持することができました。

介護保険での看取り実績がないことから、年度途中で看護体制強化加算が算定中止となりましたが、退院時共同加算やコロナウイルス感染症患者へのサービス提供に関連した加算を取得することができました。

また、新規利用者にまめネットの活用について説明し、同意を得ることで、診療情報の共有、入院の際の状態把握など、町内外の医療機関との連携を進めることができました。

毎月の定例会で、感染症、看取り、医療依存度の高い方への対応、リスクマネジメントなど、職員のスキルアップのため、勉強会を行いました。また社協内外の研修にも積極的に参加しました。

### 2、事業実績

月別		介護保険		医療保険	合計
		介護給付	予防給付		
4月	実人数	21	11	7	39
	利用回数	87	35	37	159
5月	実人数	22	11	6	39
	利用回数	110	38	32	180
6月	実人数	22	11	6	39
	利用回数	115	38	33	186
7月	実人数	23	13	8	44
	利用回数	99	48	46	193
8月	実人数	22	14	9	45
	利用回数	107	52	57	216
9月	実人数	22	13	9	44
	利用回数	104	47	51	202
10月	実人数	21	14	7	42
	利用回数	105	47	46	198

11月	実人数	23	9	7	39
	利用回数	105	35	27	167
12月	実人数	26	12	8	46
	利用回数	109	36	40	185
1月	実人数	20	12	9	41
	利用回数	87	38	50	175
2月	実人数	18	10	10	38
	利用回数	97	39	43	179
3月	実人数	17	9	11	37
	利用回数	79	25	50	154
合計	利用回数	1204	478	512	2194

### 3、研修・会議

内容	人数等
全職員研修（社協の事業を知る）	5名
JMS勉強会（腹膜透析について）	7名
目標援助制度研修	1名
スキルアップ勉強会（トランスファー・機能訓練）	3名
コーチング研修	3名
精神科訪問看護研修	2名
全職員研修（災害について）	5名
管理者研修（顧問弁護士研修）	1名
中堅リーダー研修	1名
人工呼吸器管理と看護	2名
救命救急研修	5名
新型コロナウイルス感染症に関する研修	3名
フィジカルアセスメント研修（初級編）	1名
メンタルヘルス研修	4名
ACP研修	2名
結核研修会	1名
島根県在宅医療介護連携事業に係る研修	1名
高齢者虐待防止に係る研修	3名
全職員研修（権利擁護）	5名
多職種連携研修（地域での専門職としての価値を高める）	1名
訪問看護師出向事業報告会	1名

令和6年度介護・診療報酬改訂に係る研修	1名
介護専門員実務者研修	1名
第1回感染対策委員会研修（感染症の特徴と予防策）	1名
第2回感染対策委員会研修（ノロウイルス）	2名
在宅医療は成り立つか	1名
しまねの在宅医療介護の課題と取り組みへの模索	1名
ケアマネジメント会議（年6回開催）	1名
リハビリ会議	1名
地域福祉連絡会議	1名
医療介護連携会議（IK会議・年4回開催）	1名
地域支えあい会議	1名
益田地域保健医療対策会議（年4回開催）	1名
益田圏域難病対策地域会議	1名
新型コロナウイルス対策会議（コロナ・インフル同時感染）	1名
島根県訪問看護協会支部長会	1名
島根県訪問看護協会益田圏域支部会（年4回開催）	1名
訪問看護定例会（職員会議・毎月開催）	8名
所属長会議（毎月開催）	1名
入退院・入退所調整会議（年5回開催）	1名
虐待防止委員会（毎月開催）	1名
感染防止対策委員会（毎月開催）	1名

## 《アスノワ》

### 1、事業の主な取り組みと評価

引きこもりや障がいのある方が自立・就労への第一歩を踏み出せるよう各関係機関と連携を図り、新規3名の利用につながりました。利用者の状態や希望にそった作業の割り振りや指導を行い、相談にも丁寧に対応しました。また今年度から鹿足就労部会が発足し、郡内の他施設の職員と年4回会合し、情報交換や課題の共有を行いました。

ポン菓子の製造販売では新商品を3つ製造し、各種イベントに積極的に向いて販売を行いました。株式会社キヌヤ2店舗に商品の卸売販売も実施することができました。また、販路拡大に向けて益田市・出雲市で開催された商談会に積極的に参加しました。工賃を向上することが出来、利用者へ一時金を支給することができました。

高齢・難病等で利用を休止される利用者もあり、昨年度に比べ利用人数は1日

平均 10.4 人から 9.9 人と減少しました。

施設整備としては、アスノワシヨップの壁紙・エアコン・樋・下水工事などの改修が行なわれました。

## 2、事業実績

### (1) 利用実績

月	開所日数	利用者 実人数	利用者 延べ人数	平均勤務時間 (1日)	平均利用者数 (1日)
4月	26	16	268	62.3	10.3
5月	28	15	265	66.8	9.4
6月	26	15	249	60.8	9.5
7月	26	15	236	58	9
8月	27	15	256	63.7	9.4
9月	26	15	263	67.2	10
10月	28	15	247	61.8	8.8
11月	28	15	265	66.3	9.4
12月	24	16	248	55.6	10.3
1月	25	16	268	62.3	10.7
2月	25	19	294	56.6	11.7
3月	28	18	304	62.8	10.8
合計	317	190	3,163	62	9.9

### (2) 利用者への支払い工賃

- 1) 年間：3,370,466 円（工賃 3,112,711 円、一時金 257,755 円）
- 2) 1人あたりの時間額：265 円
- 3) 平均工賃：28.087 円

### (3) 利用者の仕事内容

委託者	作業内容	収入（年間）
みろく苑	館内清掃	1,696,860
とびのこ苑	館内清掃	1,270,500
七日市ディサービス	食事の配達・配膳	804,000
吉賀町福祉センター	館内清掃	152,268
	配食サービス	75,000
	名刺	47,270
吉賀町農業公社	道の駅やくろトイレ	621,940

	道の駅周辺清掃	
	ヨモギ採り	1,450
	ポン菓子受注生産	56,100
	ポン菓子販売・手芸品	133,313
吉賀町	保健センター内清掃	181,000
	サクラマス交流センター下水処理	271,486
アスノワ事業所	アスノワショップ販売(ポン菓子)	580,765
	委託販売(林産物)・薪木	7,684
	ポン菓子加工依頼	16,600
	イベント販売	745,429
(株)エポックかきのきむら	ポン菓子	161,997
食と農かきのきむら企業組合	ポン菓子	10,268
柿の里	手芸品	2,520
その他	手芸品(アスノワ)	129,707
	出産祝品	84,000
	ひばりの会	22,450
合計		7,072,607

## イベント

実施月	イベント名	場所	参加者
4月30日	夢・花マラソン販売	六日市	職員4名・利用者4名
5月1日	七光保育所出張イベント	七光保育所	職員4名・利用者4名
5月9日	ひばりの会	福祉センター	職員1名・利用者2名
5月23日	わが町魅力隊カープイベント：ナイター	広島 ZOOMZOOM スタジアム	職員3名
5月28日	道の駅やくろイベント	道の駅やくろ	職員2名・利用者1名
6月7日	ひばりの会	福祉センター	職員1名・利用者2名
6月23日	ボランティア研修会 販売	福祉センター	職員1名・利用者2名
7月29日	アスノワ1周年と3ヶ月祭	アスノワショップ	職員7名・利用者10名
8月18日	上映会販売	ふれあい会館	職員2名・利用者2名

9月26-27日	来ちゃん祭 石見・萩 ぶちうまフェア	(株)キヌヤシ ョッピングセ ンター	職員3名・利用者2名
10月1日	福祉まつり	福祉センター	職員3名・利用者2名
10月21日	JA収穫祭	よしかみらい	職員2名・利用者2名
10月29日	道の駅やくろ収穫祭	道の駅やくろ	職員2名・利用者2名
11月5日	きんさい・みんさい (六日市)	六日市	職員3名・利用者2名
11月19日	きんさい・みんさい (柿木)	柿木	職員4名・利用者4名
1月21日	にぎやかな日々	益田市グラン トワ	職員2名・利用者2名
2月16日	ありがとうの会	福祉センター	職員2名・利用者2名
2月23日	しふくのマルシェ	株)キヌヤシ ョッピングセ ンター	職員2名・利用者2名
3月3日	あったかフェステイ バル	吉賀町町民体 育館	職員3名・利用者3名
3月17日	吉賀町フェア	株)キヌヤシ ョッピングセ ンター	職員2名・利用者1名
3月20日	くじらミュージック コンサート	益田市グラン トワ	職員2名・利用者2名

《利用者レクリエーション》

◎9月21日(木)就労A型さんさん牧場視察研修・道の駅田万川・ゆめタウン益田

職員3名 ・利用者9名

◎9月28日(木)就労A型さんさん牧場視察研修・道の駅田万川・ゆめタウン益田

職員3名 ・利用者9名

◎12月14日(木)お楽しみ会 職員8名 ・利用者17名

3、研修・会議

内容	人数等
全職員研修（社協の事業を知る）	6名
鹿足就労部会発足（わさびの里）	1名
課内研修（問題解決方法）	6名
コーチング研修	1名
災害における被害状況を把握するシステム訓練	1名

吉賀町食品衛生研修会	2名
全職員研修（事業報告・決算報告・防災）	6名
益田・鹿足地区生活支援会議	1名
鹿足就労部会（よしかの里）	1名
益田・鹿足地区生活支援会議	1名
振興センター・専門家派遣（よろずや商店）	4名
HACCP研修（説明会及び食品表示基礎セミナー）	3名
救命救急AED研修	5名
サービス管理責任者更新研修	1名
全職員研修（看取り・ACP）	6名
振興センター・専門家派遣（原価計算の方法・販売価格の決め方）	4名
在宅福祉部感染対策委員会研修	4名
避難訓練	職員1名 利用者2名
鹿足就労部会（アスノワ）	4名
振興センター・専門家派遣（ポン菓子の販売について・売上向上・販路等）	5名
全職員研修（権利擁護）	6名
振興センター・専門家派遣（株）二幸（販売計画について）オンライン	2名
振興センター・専門家派遣（よろずや商店：POP作成）	4名
益田生活支援連絡会議	1名
鹿足就労部会（つわぶきの里）	
振興センター・専門家派遣（株）二幸：商談会についてオンライン	2名
感染対策委員会研修	4名
益田圏域特産品商談会（グラントワ）	2名
県産品商談会（出雲）	3名

サービス提供連絡会議、障がい連絡会議、虐待防止委員会、身体拘束廃止委員会  
職員会議、安全衛生委員会

## 介護保険課

### 《ヘルパーステーション》

#### 1、事業の主な取り組みと評価

利用者が住み慣れた地域で安心してその人らしく暮らしていけるよう、利用者に寄り添ったサービスの提供に努めました。しかし、スムーズなサービス利用に向け

た新たなサービス体制については、利用者の減少と新たな人材確保も難しい状況があり実施できませんでした。

業務改善として、より良いサービスの実施に向け「報連相」を密にし、利用者の様子や変化をすぐ把握できるよう ICT 化を図りました。登録ヘルパーやパート職員が訪問前に前回の訪問の様子や手順書をアプリで確認してから訪問ができるようになりサービスの質の向上につながりました。

個々のヘルパーごとに研修計画をたてることで、社内研修や全職員研修に計画的に参加でき、スキルアップをはかることができました。

介護保険事業の実績は、長年利用されていた毎日訪問の利用者が入居されたり、入院が多かったこともあり、訪問回数は前年度 5325 回に比べ 4592 回と減少しました。新規の利用者も年間 48 件ありましたが、入院等により短期間で終了することが多く安定した利用が続かないことが課題となりました。障がい福祉サービスは前年度に比べ横ばい、移送事業も減少となりました。

## 2、事業実績

### (1) 介護保険

月別		総合			介護給付					合計	一日平均
		事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	実人数	3	15	15	14	5	3	3	3	61	1.9
	利用回数	9	65	72	73	26	53	41	22	361	12
5月	実人数	2	16	16	16	3	3	1	4	61	1.9
	利用回数	9	80	91	73	22	57	17	41	390	12.6
6月	実人数	3	20	18	16	2	4	3	4	70	2.3
	利用回数	9	98	80	104	19	56	18	34	418	13.4
7月	実人数	4	17	18	20	2	3	3	4	71	2.2
	利用回数	14	78	88	106	18	56	27	41	428	13.8
8月	実人数	4	19	17	16	5	4	2	4	71	2.2
	利用回数	19	91	80	90	42	56	25	45	448	14.4
9月	実人数	4	20	16	17	4	3	2	4	70	2.3
	利用回数	9	86	86	82	35	54	18	44	414	13.8
10月	実人数	2	20	16	13	3	3	1	4	62	2
	利用回数	7	99	91	50	30	53	18	58	406	13.0
11月	実人数	2	21	14	16	8	4	1	4	70	2.3
	利用回数	9	92	74	63	47	50	20	38	393	13.1

12月	実人数	2	21	14	14	8	4	3	4	70	2.2
	利用回数	7	94	72	51	66	54	19	36	399	12.8
1月	実人数	2	21	12	11	6	2	3	4	61	1.9
	利用回数	7	74	55	38	46	47	22	37	326	10.5
2月	実人数	2	17	13	11	7	5	4	3	62	2.1
	利用回数	8	81	66	48	24	40	19	42	328	11.3
3月	実人数	2	19	13	14	6	2	2	5	63	2.0
	利用回数	7	35	76	51	27	45	12	27	280	9.0
合計	利用回数	114	973	931	829	402	621	256	466	4592	12.5

(2) 障害福祉サービス

居宅介護	利用者 16 名	利用回数 568 回
同行援護	利用者 0 名	利用回数 0 回
行動援護	利用者 0 名	利用回数 0 回
移動支援事業	利用者 2 名	利用回数 21 回

(3) 移送事業

月別	利用者数	利用回数
4月	22	83
5月	25	66
6月	22	66
7月	24	61
8月	23	57
9月	24	72
10月	20	51
11月	33	74
12月	28	79
1月	22	57
2月	26	70
3月	25	54
合計	94	790

(4)子育て支援ヘルパー	利用者 2 名	利用回数 10 回
(5)軽度生活支援事業	利用者 8 名	利用回数 34 回

### 3、研修・会議

内容	人数等
全職員大会 BSC	5名
コーチング研修	1名
オムツ交換研修	8名
全職員大会（災害研修・看取り）	5名
救急救命	6名
リーダー研修	2名
簡易浴槽研修	4名
コンプライアンス研修	1名
強度行動援護障害(基礎)	1名
感染研修	5名
メンタルヘルス研修	4名
強度行動援護障害(応用)	1名
強度行動援護研修	8名
権利擁護研修	3名
身体拘束廃止研修	8名
認知症研修	8名
感染対策研修	3名

サービス担当者会議、職員会議、個別ケース検討会、安全衛生委員会

## 《六日市デイサービス》

### 1、事業の主な取り組みと評価

利用者の尊厳を守り、尊重した自立支援を行うため、虐待防止委員を中心に不適切な対応について職員会議等で話し合い改善を図りました。新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和により、地域に開かれたデイサービスをめざし、療育音楽や音訳の会等と交流を図りました。保育所やエアロビクスの企画は感染症の流行時期と重なり実現しませんでした。秋には角寿司や羊羹をつくるなど季節行事の充実を図り、利用者に喜ばれました。

実績は、前年度と比べ延べ利用回数は167名増、1日平均利用22人、平均稼働率72.9%となりました。3月は新型コロナウイルス感染症が施設内関係者で流行したため1日休業し、2日間短縮営業となり稼働率が低下しましたが1年を通じて稼働率はほぼ7割以上で安定していました。

職員は、認知症介護基礎研修、中堅・リーダー研修、全職員研修などに参加し自己成長や意識改革に繋がりました。

施設整備としてベッド5台更新し、重度の方も安心して利用できるようになりました。

## 2、事業実績

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	稼働率	
		事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5				
4月	実人数	20	3	17	11	20	9	4	2	2			
	利用回数		9	55	75	163	73	33	4	7	419	21	69.8
5月	実人数	23	3	15	11	22	7	4	1	2			
	利用回数		12	64	84	211	81	28	6	7	493	21	71.4
6月	実人数	22	3	14	11	22	9	4	2	2			
	利用回数		13	52	77	213	86	38	10	8	497	23	74.6
7月	実人数	21	3	13	11	26	8	4	2	2			
	利用回数		11	45	75	223	58	28	13	10	463	22	73.4
8月	実人数	23	2	13	13	26	7	5	5	2			
	利用回数		10	45	81	243	62	32	24	11	508	22	73.6
9月	実人数	21	1	15	11	23	8	4	5	2			
	利用回数		4	52	61	220	57	41	28	11	474	23	75.2
10月	実人数	22	2	14	11	20	8	3	4	2			
	利用回数		5	58	78	195	62	35	24	13	470	21	71.2
11月	実人数	22	2	15	10	23	7	3	4	2			
	利用回数		8	62	64	218	54	35	20	12	473	23	71.6
12月	実人数	21	2	13	8	22	9	3	6	2			
	利用回数		8	48	56	227	57	36	36	12	480	23	76.1
1月	実人数	20	2	13	8	24	8	3	5	2			
	利用回数		7	49	48	218	57	34	28	11	452	23	75.3
2月	実人数	21	1	13	10	23	6	3	6	2			
	利用回数		4	53	55	234	51	37	36	13	483	23	76.6
3月	実人数	20	1	13	10	20	7	2	6	3			
	利用回数		2	41	59	180	49	24	26	15	396	20	66.0
合計	利用回数	256	93	624	813	2545	747	401	255	130	5608	22	72.9

※3月は、1日休業、2日間短縮しての運営

## 行事

百歳体操	お任せ脳トレ	スカットボール
カラオケ	ドライブ（町内）	七夕飾り作成
魚釣りゲーム	避難訓練	忘年会
ゆらゆらスカイツリー	ラダーゲッター	貼り絵作成
町内ドライブ	買い物ツアー	輪投げ
正月遊び	テーブルホッケー	
節分	夏祭り	秋祭り
桃の節句	獅子舞い	巻き寿司作り
療育音楽	お菓子作り（どら焼き他）	音訳の会

## 3、研修・会議

内容	人数等
課内研修	1名
所属長会議	1名
全職員研修	7名
職員会議	4名
虐待防止委員会	2名
中堅・リーダー研修	1名
社内研修：感染対策勉強会	4名
介護予防教室（年間2回）	1名
救命救急研修	3名
感染対策研修（2回）	4名
よしか病院説明会	1名
レクリエーション研修	1名
主任介護支援専門員更新研修	1名
管理職研修（コンプライアンス）	1名

## 《七日市デイサービス》

### 1、事業の主な取り組みと評価

「利用者の能力や機能を引き出し、思いをカタチに出来るデイサービス」を目標に、機能訓練の一環として買物支援に取り組み、ケアマネジャーと連携を図りながら7名の方に実施しました。その結果、自分の目で見えて食材を選ぶことで主体性が発揮され、金銭管理も出来るようになりました。さらに配食弁当や家族に頼らず、

利用者自身で調理を再開された方もおられました。また、買い物以外でも利用者のニーズに沿ったプログラムを実施することで「要介護」と認定されていた2名の方が「要支援」へ改善しました。

新規利用者の受け入れも積極的に行い、総計25名の利用がありました。(総合事業：12名、地域密着：13名)七日市地区だけでなく柿木地区から1名、六日市地区から3名受け入れました。

8月には柿木村デイサービスセンターが改修工事のため1カ月の休業となったため、当センターに利用者を受け入れました。改修工事終了後の10月には、柿木村デイサービスセンターの利用者を招いて合同で運動会を開催することができました。利用者同士再開を喜び合い、次年度も引き続き実施することとなり、地域を越えてつながる、良い交流の場となりました。

延べ利用回数は、前年度と比べ246人増加し、1日平均利用11.6人、平均稼働率は64.9%となりました。

職員は勉強会や所長業務を体験することで、業務の段取りや調整を自分で考え実施できるようになり、利用者の為に時間を有効に使うことができ、しっかりと寄り添うことも出来ました。

施設整備として昇降脚付テーブル4台更新しました。

## 2、事業実績

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	稼働率	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5				
4月	実人数	20	3	6	9	11	3	2	1	2			
	利用回数		12	20	61	75	18	22	7	22	237	11.9	66.1
5月	実人数	23	3	6	9	11	3	1	0	3			
	利用回数		14	22	58	78	19	5	0	28	224	9.7	53.9
6月	実人数	22	4	7	8	13	4	1	0	2			
	利用回数		13	24	58	83	22	4	0	18	222	10.1	56.1
7月	実人数	21	3	7	7	10	4	2	1	3			
	利用回数		13	24	51	71	23	6	6	27	221	10.4	57.8
8月	実人数	23	3	10	10	19	9	4	3	2			
	利用回数		12	42	70	144	72	34	20	24	418	18.2	101
9月	実人数	21	5	7	8	10	3	3	1	2			
	利用回数		17	24	48	77	21	27	3	23	240	11.4	63.3
10月	実人数	22	5	7	8	12	2	3	0	2			
	利用回数		20	24	50	77	12	27	0	24	234	10.6	58.9

11月	実人数	22	5	7	8	11	4	3	0	3			
	利用回数		21	28	51	76	22	27	0	18	243	11.0	61.1
12月	実人数	21	5	5	9	13	4	4	0	3			
	利用回数		18	20	48	84	31	28	0	23	252	11.7	65
1月	実人数	20	4	5	8	13	5	2	0	3			
	利用回数		15	19	46	76	25	17	0	19	217	10.7	59.4
2月	実人数	21	4	6	8	12	5	2	0	2			
	利用回数		17	27	45	79	38	18	0	20	244	11.0	64.5
3月	実人数	21	4	6	10	14	6	3	0	2			
	利用回数		16	24	56	69	37	23	0	24	249	11.9	66.1
合計	利用回数	257	188	298	642	989	340	238	36	270	3001	11.6	64.9

※8月は柿木デイサービスセンター利用者受け入れ

### 行事

初詣	お花見（桜）	お花見（芝桜）
柏餅作り	干し柿づくり	梅干し作り
運動会	避難訓練	忘年会
手芸	吉賀中学校企画	七日市小学校企画
吉賀高校実習受け入れ	町内ドライブ	買い物ツアー
七夕	彼岸花見学	誕生日会
紅葉ツアー	ゆず風呂	うちわ作り
里帰りツアー	入浴剤作り	巻き寿司作り
NHK取材	百寿お祝い（吉賀町）	お花見（サツキ）
梅煮作り	お花見（アジサイ）	体力測定
島根健康長寿表彰式	紙芝居	口腔ケア指導

### 3、研修・会議

内容	人数等
デイ機能転換会議	1名
所属長会議	1名
全職員研修:	4名
全職員研修:	4名
全職員研修:	4名
職員会議	4名
虐待防止委員会	2名
事業所内研修：機能訓練実践勉強会	7名
事業所内研修：感染対策勉強会	4名

事業所内研修：介護福祉士勉強会	2名
重層的支援体制整備事業会議	1名
柿木・七日市デイ合同会議	8名
リハビリカンファレンス	1名
所属長対象：勤怠システム研修	1名
介護予防教室（年間4回）	1名
予算研修	1名
ケアマネジャー研修	1名
在宅リハ会議	1名
救命救急研修	4名
サマーボランティア	1名
防火管理者研修	1名
利用者検討会議	7名
障害者職業生活相談員研修	1名
感染対策研修（2回）	1名
よしか病院説明会	1名

## 《柿木村デイサービス》

### 1、事業の主な取り組みと評価

「利用者一人一人の生きがいを追及する」を目標に、利用者一人一人の得意な事、強みを職員全員で情報共有し、集団での物づくりや野菜づくり、調理実習等に取り組みました。浴室改修工事のため8月に1か月休業した時には七日市デイサービスセンターを利用させてもらい、普段とは違う環境の中で機能訓練や他の地域の方と交流する機会となりました。利用者の中には幼なじみの方に数十年ぶりに会われた方もありました。

10月には七日市デイサービスセンターとの合同運動会を実施し、大変喜ばれました。職員は利用者のいつもとは違う一面を発見できるよい機会となり、また他事業所の対応や取り組みなど学ぶことも多く、所内の業務改善にもつながりました。

新しい浴室は11月に完成し、12月より入浴を再開しました。利用者には工事中騒音や狭い環境の中で過ごしてもらうなどご不便をおかけしましたが、安心安全で快適な入浴が提供できるようになりました。

長期入院や施設入所などが多く、また8月の1か月間の休業で減収となり、前年度に比べ、延べ利用回数は874回減少し、平均利用人数は12.8人、平均稼働率は51.3%となりました。利用者の減少に伴い、地域密着型（小規模型）への移行について検討し、町に提案書を提出、令和6年度から移行することになりました。

職員は「職員一人一人が自発的行動をとる」を目標に、気が付いたことをその都度話し合いながら、改修工事中の過ごし方や休業中の他のデイサービスセンター利用の工夫など協力して行う事ができました。

## 2、事業実績

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	稼働率	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5				
4月	実人数	20	1	8	6	12	6	2	1	0			
	利用回数		4	23	42	121	40	23	6	0	259	13.0	51.8
5月	実人数	23	1	7	7	12	5	2	2	0			
	利用回数		5	27	55	134	35	27	9	0	292	12.7	50.8
6月	実人数	22	1	8	7	12	6	2	2	0			
	利用回数		4	32	53	136	53	26	13	0	317	14.4	56.1
7月	実人数	21	1	9	6	12	8	2	2	0			
	利用回数		4	32	50	130	67	25	14	0	322	15.3	61.
8月	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	利用回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	実人数	20	1	9	6	11	6	2	2	0			
	利用回数		4	29	42	88	47	23	13	0	246	12.3	49.2
10月	実人数	22	1	10	5	10	5	2	2	0			
	利用回数		4	36	43	87	54	26	16	0	266	12.0	48.4
11月	実人数	22	1	8	6	11	5	2	2	0			
	利用回数		5	33	48	94	54	24	13	0	271	12.3	49.3
12月	実人数	21	2	8	7	10	6	2	2	0			
	利用回数		7	28	53	93	51	25	14	0	271	12.9	51.6
1月	実人数	20	1	7	7	12	6	2	2	0			
	利用回数		4	21	48	102	47	18	12	0	252	12.6	50.4
2月	実人数	21	1	7	7	12	5	2	1	0			
	利用回数		4	30	43	106	46	22	9	0	260	12.4	49.5
3月	実人数	21	1	5	7	10	5	3	1	0			
	利用回数		4	18	48	92	30	34	8	0	234	11.1	44.6
合計	利用回数	233	49	309	525	1183	524	273	127	0	2990	12.8	51.3

※8月は浴室改修工事のため休業。9月1日は事業再開準備のため休業

## 行事

お花見（芝桜）	津和野こいのぼり	アジサイ
柏餅作り	水源会館彼岸花ドライブ	運動会
愛宕神社紅葉見学	お花がみアート作成	誕生日会
お花見（桜）	避難訓練	口腔ケア指導
干し大根作り	福笑い	
野菜づくり（トマト、ナス、キュウリ、ピーマン、カボチャ、はつか大根、春菊、白菜、ほうれん草、人参、豆）		
調理実習（キュウリやホウレン草などの和え物、ピーマンの卵とじ、和え物、焼きなす、昼食：ちらし寿司、豚汁）		
物づくり（こいのぼり・アジサイ・七夕飾り・コスモス塗り絵・桜の壁飾り）		

## 3、研修・会議

内容	人数等
デイ機能転換会議	1名
所属長会議	1名
全職員研修	4名
虐待防止委員会	1名
事業所内研修：機能訓練実践勉強会	1名
事業所内研修：感染対策勉強会	4名
コーチング研修	2名
管理者研修（法に関するQ&A）	1名
柿木・七日市デイ合同会議	4名
リハビリカンファレンス	1名
救命講習	4名
職員会議	4名
管理者研修（予算実績管理）	1名
防火管理者研修	1名

### Ⅲ 施設福祉部

#### 《特別養護老人ホームみろく苑》

##### 1、事業の取り組みと評価

一人ひとりがその人らしい生活を続けられるよう、みろく苑の運営理念である「ご利用者様に対し尊敬、思いやりの心で接し、自律した生活の支援」の提供に努めました。

医療機関や専門職との連携のもと入居者の健康管理に努めた結果、平均稼働率が97.4%で目標を達成することができました。しかし短期入所は60.1%で目標には届きませんでした。

看取り支援は3年目を迎えました。最期の時まで本人と家族に寄り添い、5名の入居者の看取り支援ができました。

年末年始にかけ施設内で新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。いざという時に迅速に対応するため、事業所に即したBCPの必要性を実感する機会となりました。

コロナ禍でイベントや外出などが減っていましたが、毎月趣向を凝らした喫茶を開催したり、厨房職員と一緒に調理を行う機会を提供したり、入居者の希望に沿ったイベントや外出を通して、苑での生活に彩りを添えることができました。

施設整備については、大型洗濯機及び大型乾燥機の新規更新、床走行リフトの購入、8月から地域密着型の大掛かりな排水管工事を年度末にかけて行いました。

##### 2、事業実績

###### (1) 利用状況

月	入居者	退居者	入院者数	入院延べ日数	稼働率
4月			2名（小規模） 1名（地域）	7（小規模） 8（地域）	99.0
5月	1名（地域）	1名（小規模） 1名（地域）	3名（小規模） 0名（地域）	59（小規模） 0（地域）	95.5
6月	1名（小規模） 2名（地域）	2名（地域）	2名（小規模） 1名（地域）	27（小規模） 1（地域）	97.6
7月	1名（小規模）	1名（小規模）	4名（小規模） 2名（地域）	58（小規模） 23（地域）	93.7
8月		1名（地域）	2名（小規模） 1名（地域）	20（小規模） 12（地域）	97.1
9月	1名（地域）		2名（小規模） 2名（地域）	17（小規模） 20（地域）	97.9

10月			0名（小規模） 1名（地域）	0（小規模） 3（地域）	99.8
11月			1名（小規模） 1名（地域）	16（小規模） 13（地域）	98.0
12月			1名（小規模） 0名（地域）	31（小規模） 0（地域）	98.0
1月	1名（小規模） 1名（地域）	1名（小規模） 1名（地域）	1名（小規模） 1名（地域）	8（小規模） 12（地域）	98.4
2月	1名（小規模）	1名（小規模）	0名（小規模） 2名（地域）	0（小規模） 15（地域）	98.5
3月	1名（地域）	1名（小規模） 2名（地域）	0名（小規模） 3名（地域）	0（小規模） 45（地域）	95.7
合計	10名	12名	33名	395日	97.4

(2) 介護度別人数

月	要 介 護 度					平均値
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	1	2	15	12	20	4.0
5月	1	2	16	12	20	3.9
6月	1	2	17	12	19	3.9
7月	1	2	17	11	20	3.9
8月	1	2	16	11	20	3.9
9月	1	2	16	11	20	3.9
10月	1	2	16	11	20	3.9
11月	1	2	16	11	20	3.9
12月	1	2	15	12	20	4.0
1月	1	2	15	11	22	4.0
2月	1	2	14	12	22	4.0
3月	1	2	15	11	22	4.0

(3) 短期入所生活介護サービス利用状況

月別	前年度のべ利用者数	今年度のべ利用者数	稼働率
4月	131	146	60.8
5月	154	133	53.6
6月	118	152	63.3
7月	206	144	58.1

8月	174	141	56.9
9月	152	144	60.0
10月	150	97	39.1
11月	166	152	63.3
12月	162	154	62.1
1月	176	123	49.6
2月	173	175	75.4
3月	159	195	79.4
合計	1921	1758	60.1

### 3、研修、会議

内容	人数等
グループコーチング	41名
全職員研修①（社協の事業を知る）	38名
人事評価勉強会	6名
コーチング研修	11名
全職員研修②BCP 防災について	43名
事故・感染研修	29名
BCP 災害訓練（夜間の停電時の対応）	18名
コンプライアンス研修	2名
虐待研修	22名
救急救命講習	24名
感染について・メンタルヘルスケア	40名
認知症の理解	20名
看取り研修 ACP について	38名
苦情処理の研修	1名
認知症実践者研修	1名
介護支援専門員更新研修	1名
虐待を防ぐために求められる支援とは	42名
褥瘡予防研修 ロホクッションを用いて	11名
中堅職員研修	5名
発電機の使用について	9名
事故予防研修（モニタリング）	7名
喀痰吸引実地研修	4名
認知基礎研修	6名

## 《特別養護老人ホームとびのこ苑》

### 1、事業の主な取り組みと評価

入居者の生活の質が高まるよう入居者、ご家族の願いや希望に沿った自立支援計画書を作成し、生きることの喜びや張り合い感じられるよう努めました。特に新型コロナウイルスが5類となり、外出や外泊の希望が増える中、感染対策を講じて自宅への帰省や外出、外泊などご家族と共に過ごす機会を実現しました。

稼働率については、入院者延べ人数と退所者数の増加が稼働率低下の要因となり、入所は、96.1%で目標稼働率の97%を達成することができませんでした。短期入所は80.1%で目標稼働率75%を達成しました。退所者のうちの11名は看取り支援をおこない、最期の瞬間まで全人的ケアに努めました。短期入所については、町内の利用者が減少する中、津和野町からの利用者や緊急の受け入れ、空床利用を積極的におこないました。

新型コロナウイルス感染症においては、入居者1名の感染者が出ましたが、他の入居者や職員への感染を防ぎ業務に支障が出る状況はありませんでした。

施設整備については、小規模型の浴室改修を行い、天井走行リフトと臥床用特殊浴槽設置しました。床走行リフトも1台増やし「抱えない介護」の実践と入居者の重度化に対応した安全安心な入浴を提供することができました。

### 2、事業実績

#### (1) 利用状況

月	入居者	退居者	入院者数	入院延べ日数	稼働率
4月	2名（小規模）	2名（小規模） 1名（地域）	3名（小） 0名（地）	14（小） 0（地）	97.3
5月	1名（小規模） 2名（地域）	1名（小規模） 1名（地域）	1名（小） 0名（地）	16（小） 0（地）	97.1
6月			1名（小） 0名（地）	10（小） 0（地）	99.3
7月		1名（小規模）	2名（小） 0名（地）	41（小） 0（地）	97.4
8月	1名（小規模）		2名（小） 1名（地）	33（小） 5（地）	97.1
9月	2名（小規模）	3名（小規模） 1名（地域）	6名（小） 1名（地）	84（小） 1（地）	92.1
10月	1名（小規模） 2名（地域）	1名（小規模） 1名（地域）	5名（小） 1名（地）	79（小） 9（地）	93.4

11月	3名(小規模)	2名(小規模)	3名(小) 2名(地)	46(小) 11(地)	93.8
12月	1名(地域)	1名(小規模) 1名(地域)	1名(小) 1名(地)	27(小) 3(地)	97.4
1月	3名(小規模)	2名(小規模)	1名(小) 4名(地)	9(小) 35(地)	94.3
2月	1名(地域)	1名(地域)	2名(小) 0名(地)	34(小) 0(地)	97.2
3月			2名(小) 2名(地)	25(小) 30(地)	96.2
合計	19名	19名	41名	512日	96.1

(2) 介護度別人数

月	要 介 護 度					平均値
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	0	2	9	21	20	4.1
5月	0	2	10	21	19	4.1
6月	0	2	11	20	17	4.0
7月	0	2	11	20	17	4.0
8月	0	2	11	21	18	4.1
9月	0	2	11	20	19	4.1
10月	0	2	10	18	20	4.1
11月	0	3	9	21	20	4.1
12月	0	2	9	20	20	4.1
1月	0	2	9	22	19	4.2
2月	0	2	9	23	17	4.1
3月	0	2	9	23	16	4.1

(3) 短期入所生活介護サービス利用状況

月別	前年度延べ利用者数	今年度延べ利用者数	稼働率%
4月	78	56	46.7
5月	98	76	61.3
6月	94	88	73.3
7月	113	112	90.3
8月	84	98	79.0
9月	99	104	86.7
10月	87	115	92.7

11月	78	93	77.5
12月	80	118	95.2
1月	93	104	83.9
2月	65	95	81.9
3月	75	113	91.1
合計	1044	1172	80.1

### 3、研修・会議

内容	人数等
全職員研修	31名
全職員会議・目標援助制度について	45名
コーチング研修	4名
権利擁護・虐待防止研修	30名
褥瘡防止研修	37名
感染症防止研修・感染症BCP訓練	9人
中堅リーダー研修	5名
事故防止研修	26名
看取り研修	2名
褥瘡防止ポジショニング研修	34名
新型コロナウイルス感染症に関する研修会	2名
ACP・看取り研修	38名
権利擁護（虐待防止・身体拘束廃止）	31名
感染症防止研修・感染症BCP訓練	34名
事故防止研修安全なリフト移乗	38名
認知症基礎研修	2名
認知症実践者研修	1名
介護支援専門員実務研修	1名
喀痰吸引実地研修	4名

## 《グループホームあさくら》

### 1、事業の主な取り組みと評価

令和5年度の重点目標である、個人の尊厳や意志を尊重したその人らしい生活、その人らしい最期を迎えるための「看取りケア」の実践をめざしました。感染防止

対策を講じながら、サロンなどの地域活動、介護予防教室等への参加、公民館のイベントなどを通して交流会を行いました。

1月に新型コロナウイルスのクラスターが発生するまでは、入居者と一緒に昼食を手作りしていましたが、それ以降は介護量も増えたことからやむなく中止し、日常生活の中で認知症の進行防止や体力保持に努めることとしました。

看取りケアの実践に向けて、指針の整備や研修を開催しました。その結果全職員の意識を向上することができ、訪問看護と連携をしながら1名の看取りケアを行うことができました。

日々の業務の中では、利用者の可能性に視点を置き、長所を見つける「にやりほっと」の取り組みを行い、82枚の事例が提出され、本人のやる気をそがない丁寧なケアの提供に繋がりました。

平均稼働率は96.0%で、目標を達成することはできませんでしたが、全職員でコスト削減意識や業務改善へのアイデアを出し合い取り組んだ結果、物価高騰となる中においても、コスト削減がおこなえました。

施設整備については、避難経路の勝手口にスロープを整備し、リビング及び廊下のLED取替工事を行いました。

## 2、事業実績

### (1)利用状況

	利用者数	延利用者数	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	稼働率 %
4月	9	270	0	0	4	2	3	0	100
5月	9	279	0	0	4	2	3	0	100
6月	9	248	0	0	4	2	3	0	91.9
7月	9	240	0	0	5	2	2	0	86.0
8月	9	276	0	1	5	1	2	0	98.9
9月	9	270	0	1	4	2	2	0	100
10月	9	273	0	1	4	2	2	0	97.8
11月	9	251	0	1	4	2	2	0	93.0
12月	9	279	0	1	3	2	3	0	100
1月	9	274	0	1	3	2	3	0	98.2
2月	9	232	0	1	3	2	3	0	88.9
3月	9	270	0	1	4	1	3	0	96.8
合計		3162	年間稼働率 96.0%						

## (2)通所介護

	利用者数	延利用者数	支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	1	4	0	0	0	4	0	0
5月	1	4	0	0	0	4	0	0
6月	1	4	0	0	0	4	0	0
7月	1	5	0	0	0	5	0	0
8月	1	3	0	0	0	3	0	0
9月	1	4	0	0	0	4	0	0
10月	1	5	0	0	0	5	0	0
11月	1	4	0	0	0	4	0	0
12月	1	3	0	0	0	3	0	0
1月	1	2	0	0	0	2	0	0
2月	1	2	0	0	0	2	0	0
3月	1	5	0	0	0	5	0	0
合計		45	0	0	0	45	0	0

## (3) 行事

戸外活動 ～お花見、外出支援（散髪、受診）、など  
地域サロン参加、公民館活動参加（クリスマスリース作り）  
サクラマスとの交流会、地域の運動会・夏祭り参加  
地域との合同避難訓練  
誕生日会、敬老会、  
畑作業、花壇作り

## 3、研修、会議

内容	人数等
全体研修（社協の事業について）	11名
全職員研修（災害時の対応について）	11名
チーム力向上研修	1名
全職員研修（権利擁護研修）	11名
看取り研修（他施設での看取りの取り組み事例）	2名
人事評価研修	1名
全職員研修（ACP）	11名
看取り研修（老いて行く体の変化について）	6名
介護支援専門員研修Ⅰ・Ⅱ	1名

看取り研修（看取り期における心身状況の変化）	6名
サービス管理責任者研修	1名
高齢者住まいの看取り研修	11名

#### IV. 苦情・要望

	発生 時期	部署・事業所	苦情・要望の内容
1	4月	あさくら	職員の電話の対応について
2	7月	地域包括支援センター	認知症啓発活動について
3	8月	総合相談支援所	社協会費納入にあたっての事務手続きについて
4	8月	総合相談支援所	社協会費納入にあたっての事務手続きについて
5	9月	六日市デイサービス	ケア及び利用中の情報提供について
6	10月	ヘルパーステーション	ケアの内容について
7	2月	総合相談支援所 地域包括支援センター	職員の対応について

## 事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人 吉賀町社会福祉協議会